

Optimal Biz SaaS ID・アクセス制御 運用マニュアル

最終更新日 2024 年 10 月 20 日 (Web サイト ver.9.22.0) 株式会社オプティム

はじめに

●SaaS ID のオプションサービスは、2022 年 6 月 30 日をもって終了しました。 後継のサービスは「OPTiM ID+」になります。詳細については以下を参照してください。 ⑦ https://www.optim.co.jp/optim-id-plus/

本マニュアルでは、Optimal Biz(以下、本製品と呼ぶ)の操作ほか、各機能の概要、画面の説明、設定操作につい て説明しています。

また、要点となる各種の内容を以下に記載しています。これらの内容をご理解の上、マニュアルをお読みください。

名称・呼称

注意

本マニュアルに登場する特定の企業、人について、以下の定義で記載しています。

名称	。 1993年1月1日(1993年1月1日) 1993年1月1日(1993年1月1日)				
サービス企業	本製品を提供する企業。				
管理者	本製品の管理サイト(機器の管理・運用を行う Web サイト)を運用する者。				
端末使用者	本製品で管理している端末を使用する者。				
システム管理者	企業の社内システム(サーバー・インフラなど)を管理する者。				

注意・ポイントマーク

操作を行う場合に注意する点や、操作のポイントとなる点を示す場合は、以下のマークで記載しています。

マーク	説明
	データの破損や消失など、特に注意していただきたい内容を記載しています。
Ø	操作のポイントや知っておくと便利な内容を記載しています。

記号

画面に表示されるボタンやメニュー、キーボードのキーなどを示す場合は、以下の記号で記載しています。

マーク	説明
[]	ボタン、メニュー、タブ、リンク、チェックボックス、ラジオボタンなどの名称を示しています。
Γ」	画面名、機能名、項目名、マニュアル内の参照先などを示しています。
ſJ	マニュアルや資料などの名称を示しています。
$\langle \rangle$	キーボードなどのハードキー名称(スペースキーは〈スペース〉と表記)を示しています。

参照マーク

他のマニュアルや他のページへなどの参照を示す場合は、以下のマークで記載しています。

マーク	說明 說明
(F	他のページや Web サイトへの参照を示しています。クリックすると該当箇所にジャンプします。
Ŧ	セクション内の画面への参照を示しています。クリックすると該当の画面にジャンプします。
R	他のマニュアルや資料への参照を示しています。

用語集

不明な用語については、『よくあるご質問(FAQ)』を参照してください。

https://support.optim.co.jp/opproduct/Biz3/web/knowledgeList.html?keyword=%E7%94%A8%E8% AA%9E%E9%9B%86%E4%B8%80%E8%A6%A7&searchMethod=0&searchCondition=0&searchCateg ory=1&searchItem=1&searchTag=1

免責事項

- ●本マニュアルは、ユーザー種別が[管理者]のユーザーを対象としています。[管理者]以外のユーザー種別でロ グインした場合は、操作が制限されます。
- ●iPad OS の操作は iOS と同様です。差異がある場合は iPad OS 用の記載をしています。
- ●画面上のバージョン表記は、実際の表示と異なる場合があります。
- ●本マニュアルに記載されている Web サイトの URL は、予告なく変更される場合があります。
- ●OS のバージョンやブラウザーにより、一部の画面や操作が異なる場合があります。本マニュアルでは、Google Chrome を例に説明しています。

登録商標

- ●Apple、iPad、iPadOS、iPhone、Mac、macOS は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc.の商標です。
- ●iOS は、Apple Inc.の OS 名称です。
 IOS は、Cisco Systems, Inc.またはその関連会社の米国およびその他の国における登録商標または商標であり、 ライセンスに基づき使用されています。
- ●iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- App Store は、Apple Inc.のサービスマークです。
- Android、Google Chrome、Google Cloud、Google マップ、Google Play、Google Workspace は、Google LLC の商標です。
- Microsoft、Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商 標です。
- ●Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。Windows は、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ●その他記載の会社名、製品名は、各社の登録商標および商標です。

1 SaaS ID 連携	5
1.1 SaaS ID 連携について	6
1.2 SaaS ID 連携の事前準備	6
1.3 Office 365 の SaaS ID 連携導入手順	7
1.3.1 アプリの登録を行う(Microsoft Azure)	8
1.3.2 SaaS ID 連携の設定を行う(管理サイト)	13
1.3.3 コマンドを実施する(Microsoft Azure Module)	17
1.3.4 ユーザーを登録する(管理サイト)	23
1.3.5 アクセス制御を設定する(管理サイト)	26
1.3.6 機器をユーザーに紐づけする(管理サイト)	27
1.4 Google Workspace の SaaS ID 連携導入手順	29
1.4.1 SaaS ID 連携の設定を行う(管理サイト)	30
1.4.2 シングルサインオンを設定する(Google 管理コンソール)	32
1.4.3 認証情報を作成する(Google APIs)	34
1.4.4 サービスアカウントへ権限を付与する(Google 管理コンソール)	40
1.4.5 プロビジョニングの設定を行う(管理サイト)	42
1.4.6 ユーザーを登録する(管理サイト)	44
1.4.7 アクセス制御を設定する(管理サイト)	47
1.4.8 機器をユーザーに紐づけする(管理サイト)	48
1.4.9 ユーザー種別を確認・変更する(Google 管理コンソール)	50
1.5 ログイン方法	53
1.5.1 Office 365 にログインする	53
1.5.1.1 Android の場合	53
1.5.1.2 iOS の場合	55
1.5.1.3 Windows の場合	
1.5.2 Google Workspace にログインする	61
1.5.2.1 Android の場合	61
1.5.2.2 iOS の場合	
1.5.2.3 Windows の場合	
1.5.2.4 初回ロクインの場合	69
2 付録	70
2.1 参考リンク集	71
2.1.1 Office 365	71
2.1.2 Google Workspace	71
2.2 注意事項	71

目次

1 SaaS ID 連携

以下の項目について説明しています。

項目	ページ
SaaS ID 連携について	<u>6</u>
SaaS ID 連携の事前準備	<u>6</u>
Office 365 の SaaS ID 連携導入手順	<u>7</u>
Google Workspace の SaaS ID 連携導入手順	<u>29</u>
ログイン方法	<u>53</u>

1.1 SaaS ID 連携について

Optimal Biz の ID で SaaS アプリケーション (Office 365 または Google Workspace) へのシングルサインオン (SSO) 連携を行います。また、アクセス制御機能を併用することでエージェント未認証の端末からのログインを 防ぎ、セキュアな SaaS アプリケーション利用環境を構築できます。



※アクセス制御を利用した SaaS アプリケーション連携イメージ

1.2 SaaS ID 連携の事前準備

ご利用には以下の準備が必要になります。

- SaaS ID 連携のご利用には、SaaS アプリケーション(Office 365 または Google Workspace)のご契約が必要で す。
 - ・ライセンス数は使用数分のご契約が必要になります。
- ●特権管理者のアカウントが必要です。
 - ・MDM 管理者と SaaS アプリケーション管理者が異なる場合は、あらかじめ SaaS アプリケーションの特権管 理アカウントの情報を確認しておいてください。
- ●使用するドメインを SaaS アプリケーションと紐づけが必要です。

📝 Office 365 で SaaS ID 連携を行う場合は、以下についても注意してください。

- 「onmicrosoft.com」以外のドメインを設定してください。
- ・ドメインを新規作成した場合は、既定値を「onmicrosoft.com」に設定してください。
- Office 365 で SaaS ID 連携を行う場合は、Microsoft Azure Module のインストールが必要です。 以下の 2 つのモジュールをインストールしてください。
 - Microsoft Online Services Sign-In Assistant for IT Professionals RTW
 - Azure Active Directory Module for Windows PowerShell (64bit $\cancel{i} \cancel{i} = \cancel{i}$)
- ●「セキュリティ設定 (DOM)」で「スクリーンショットの撮影」を「有効」に設定しておく必要があります。以下 を参照して、設定を確認してください。

各サービスのログインページの URL などは、以下を参照してください。

┌── 「参考リンク集」71 ページ

 [『]管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 – Android」 − 「Device Owner Mode」 − 「セキュ リティ設定(DOM)」

1.3 Office 365 の SaaS ID 連携導入手順

Office 365 での SaaS ID 連携の手順です。

✓ 手順で使用している画面は、Microsoft 社のアプリケーションに準拠します。また、Microsoft 社の仕様変更など で予告なく変更される場合があります。その場合は実際の画面に従って登録を行ってください。

◆導入時の流れ

項目	ページ
<u>アプリの登録を行う(Microsoft Azure)</u>	<u>8</u>
SaaS ID 連携の設定を行う(管理サイト)	<u>13</u>
コマンドを実施する(Microsoft Azure Module)	<u>17</u>
<u>ユーザーを登録する(管理サイト)</u>	<u>23</u>
アクセス制御を設定する(管理サイト)	<u>26</u>
機器をユーザーに紐づけする(管理サイト)	27

1.3.1 アプリの登録を行う (Microsoft Azure)

◆操作アプリケーション:Microsoft Azure

Microsoft Azure でアプリの登録を行います。以下の登録・追加を行う必要があります。

- ●新しいアプリの登録
- ●アクセス許可を追加する
- ●キーの登録

☑ ログインには、Office 365 で作成した ID とパスワードを使用してください。

[1] Microsoft Azure にログインします。

⇒ログインすると、ダッシュボード画面が表示されます。

[2] [Azure Active Directory] をクリックします。





【4】 [新しいアプリケーションの登録]をクリックします。

⇒アプリの作成画面が表示されます。

Micr	osoft Azure - アプリの登録			<i></i> РД >_	- 🎲 😳 🧿	
≡	- アプリの登録 Azure Active Directory					* ×
+	1 概要	➡ 新しいアプリケーションの登録	エンドポイント 🗙 トラブルシ	ューティング		
	🥳 クイックスタート	集中型アプリケーションの登録を表示ま	たは管理するには、Microsoft Applic	ation Console にアクセスして	<	
۲	管理	にさい。 名前またはアプリ ID で検索		すべてのアプリ 🗸		
	x ^R ユーザーとグループ					
•	📕 エンタープライズ アプリケ	表示名	アプリケーション アプリ	·ケーション ID		
۵	🐺 アプリの登録	(K	Web アプリ/API			
Q	🐺 アプリケーション プロキシ	IN	Web アプリ/API	1		
2	🛔 ライセンス	TE	Web アプリ/API			
Ċ	Azure AD Connect	AU	ネイティブ	100 at 100 at 100		
Ŷ	📻 ドメイン名	TE	ネイティブ			
	② モビリティ (MDM および M	ОВ Парадар Па	Web アプリ/API	And a standard state		
	📍 パスワード リセット	NA	ネイティブ			
	🚺 会社のプランド					
0	🍄 ユーザー設定					
	プロパティ					
•						
>						

【5】「名前」、「アプリケーションの種類」、「サインオン URL」を入力します。

 ✓名前: Optimal Biz アプリケーションの種類: [Web アプリ/API] サインオン URL: <u>https://biz3.optim.co.jp/企業コード/login</u>
 ✓名前やサインオン URL は、任意の内容を入力してください。

【6】 [作成] をクリックします。

⇒アプリが登録され、基本情報の画面が表示されます。

Microsoft Azure - アプリの登録 > 作成	ר ב צ מָי פּי פּט אָ גע בא
□ = 作成 □ ×	
+ <mark>5</mark> * 名前●	
アプリケーションの種類● Web アプリ/API	
* サインオン URL ●	
©	
•	
B	
†	
•	
©	
0	
2	
• <mark>6</mark> 作成	

- 【7】「アプリケーション ID」をコピーし、メモ帳などに保存してください。
- ⑦管理サイトで SaaS ID 連携の設定を行うときに必要となります。

 (8) API アクセスの [必要なアクセス許可] をクリックします。

Micro	osoft Azure optim inc アプリの登録	〉 〉 設定		۶	○ ⊈ >_ ₹	\$ © 7	
≡	登録済みのアプリ		* 🗆 ×	設定	⊐ ×		
+	🔅 設定 💉 マニフェスト 💼 削除						
	基本へ			全般			
	表示名	アプリケーション ID	1000	₩ プロパティ	>		
	アプリケーションの種類 Web アプリ/API	オブジェクト ID		─ 応答 URL	>		
(1)	ホーム ページ	ローカル ディレクトリで管理されてい	るアプリケ	🍰 所有者	>		
		वु.	べての設定 →	ADI フクセフ			
					\ \		
					>		
				• •	/		
				トラブルシューティング + サポー	+		
T				🗙 トラブルシューティング	<i>J</i>		
•				📱 新しいサポート要求	>		
9							
0							
2							
>	(_		

[9] [Windows Azure Active Directory] をクリックします。

✔ [Windows Azure Active Directory]が表示されない場合は、(A) [追加] をクリックしてください。表示された画面の [API を選択します] から追加します。

【10】「アプリケーションのアクセス許可」の「Read and write directory data」を選択します。

「Read and write directory data」は2つ存在します。「アプリケーションのアクセス許可」を選択しないと正しく動作しませんので、注意してください。

【11】 [アクセス許可の付与] をクリックします。

◇ フィルター設定	(A) + 追加 🗣 アクト	^{セス許可の付与} 11		□ 保存 ● 削除	
全般	API	アプリケーションの	委任されたアクセス	■ アプリケーションのアクセス許可 へ 管理者権限が必要	^
₩ プロパティ	> 9 Windows Azure Acti	ve Directory (Microsoft.Azure.Act 1	0	Read and write domains 📀 (はい	
≔ 応答 URL	>			Read and write all applications	
🎦 所有者	>			Manage apps that this app creates or owns	
API アクセス				Read all hidden memberships 📀 (まい	
→ 必要なアクセス許可	>			Read and write devices 📀 (はい	
	>		1	10	
				Read and write domains 📀 (はい	
トラブルシューティング + サポート				Read directory data	
🗙 トラブルシューティング	>				
🖀 新しいサポート要求	>				· ^
				Read hidden memberships 📀 はい	
				Sign in and read user profile 🗢 いいえ	
				Read all users' basic profiles 🗢 いいえ	
				Read all users' full profiles 📀 (はい	
				Read all groups 📀 (まい	
				Read and write all groups 📀 (はい	
				Read and write directory data	
				Read directory data 📀 はい	
				Access the directory as the signed-in user 🗧 いいえ	

- 【12】登録済みのアプリ画面から設定画面を表示し、API アクセスの[キー]をクリックします。
- 【13】キーの説明、期間を入力します。

【14】[保存]をクリックします。

Micro	osoft Azure optim inc アプリの	D登録 〉 > 設定 〉	+ -	户 \$\$ ♪_ \$\$ © \$	۵
	設定	□ × ‡-			
+	○ フィルター設定	14 R RF × COR			
	全般	說明	有効期限	値	
()	₩ プロパティ	> 結果はありません。			
	≔ 応答 URL	> 13 <i>+-の説明</i>	期間	✔ 値は保存時に表示されます	
•	🎦 所有者	>			
۵	API アクセス				
Q	🚴 必要なアクセス許可	>			
a 🖬	2 📍 🖛	>			
۲	トラブルシューティング + サポート				
†	🗙 トラブルシューティング	>			
•	🎴 新しいサポート要求	>			
0					
0					
					
>	(

【15】登録されたキーの「値」をコピーし、メモ帳などに保存してください。

▶ この「値」は、管理サイトで SaaS ID 連携の設定を行うときに必要となります。

▶●画面遷移を行うと二度と表示できません。忘れずにコピーをしてください。

 ピコピーを忘れた場合は、登録済のキーを削除し再度登録を行ってください。ただし、一度目と同じ「値」 にはなりません。

ど手順【7】の「アプリケーション ID」とは異なります。混在しないようにしてください。

Micro	osoft Azure optim inc アプリの	登録 〉	> 設定 > キー		୍∕ ⊈ >_ ﷺ ⓒ ⑦	
	設定	∎ ×	+-			□ ×
+			☐ 保存 ★ 破棄			
	全般		說明	有効期限	(ž	
()	₩ プロパティ	>	結果はありません。			
	≔ 応答 URL	>	キーの説明	期間 🗸	値は保存時に表示されます	
٩	🏰 所有者	>				
۲	API アクセス					
Q	🔏 必要なアクセス許可	>				
2	♀ ≠-	>				
٢	トラブルシューティング + サポート					
†	🗙 トラブルシューティング	>				
•	🎴 新しいサポート要求	>				
٥						
0						
2						
4						
>	4					

1.3.2 SaaS ID 連携の設定を行う(管理サイト)

◆操作アプリケーション:管理サイト

管理サイトで SaaS ID 連携の設定を行います。Microsoft Azure で登録した「アプリケーション ID」と「キーの値」 が必要となりますので、あらかじめ準備しておいてください。

【1】 [設定]→[サービス環境設定]→ [SaaS ID 連携]→ [Office 365]→[編集] をクリックします。

ffice 365	Google Workspace		
SaaS ID	連携		
^{ID連携} 無効			
^{URL} (なし)			
^{証明書} (なし)			
Domain (なし)			
Client I (なし)	D		
Client S (なし)	ecret		
			編集

- 【2】「ID 連携」のチェックボックスにチェックを入れます。
- 【3】 [保存]をクリックします。

⇒ID 連携が有効になり、URL と証明書が表示されます。

Office 365 Google Workspace	
SaaS ID連携 - 編集中	
2 □ ID連携	
	取消 <mark>3</mark> 保存

【4】 [編集]をクリックします。

)Office 365のID連携	設定を変更しました。	
ffice 365 Google Wor	rkspace	
SaaS ID連携		
ID連携		
有効		
URL		
and a strength of the	a second design of the second s	
証明書		
1.000		
the later of the		
a second second	printed when here the printed when the	
10000	Contraction of the second	
The second second	the second se	
and the second s	Carl of the second s	-
Total States	A PROPERTY AND A PROPERTY	
the second second		
	the first sector was been been as a sector was	
a second second	A REPORT OF THE REPORT OF THE REAL PROPERTY OF	10
the second s		
Domain		
(なし)		
Client ID (なし)		
Client Secret		
(なし)		2
		編集

[5]	「Domain」、「Client ID」、「Client Secret」を入力します。 ②Domain: Office 365 アカウントに登録したドメイン Client ID: Microsoft Azure のアプリの登録画面に表示されたアプリケーション ID Client Secret: Microsoft Azure でアプリの登録を行ったときに表示されたキーの値
[6]	[保存]をクリックします。
	Office 365 Google Workspace
	SaaS ID連携 - 編集中
	☑ ID連携
	5 Domain
	Client ID
	Client Secret
	取消 6 保存

【7】登録内容が保存されました。

●URL、証明書、Domainは、次章「コマンドを実施する(Microsoft Azure Module)」で使用します。

Office 3	65のID連携設定を変更しました。
ice 365	Google Workspace
CC TD'#	14 7
Saas ID理	厉
ID連携 有効	
URL	
100	And in the second s
-	
証明書	
100	the first of the second s
100	Contraction in the second s
	is some a discount of a set of research and on this set of the
100	
-	the second se
-	and the second
1.20	
1.0	
-	the local design of the local data in the local data was been used in the local data and the local data and the
-11	
1.00	the second s
Domain	
100	the second se
Client ID	CONTRACT BUILDING TO BE FOR THE DOWN
Client Se	cret
State of the local division of the local div	the second se
	編集

1.3.3 コマンドを実施する (Microsoft Azure Module)

◆操作アプリケーション:Microsoft Azure Module

Windows で Microsoft Azure Module を使用し、Federation の設定を行います。Microsoft Azure Active Directory Module for Windows PowerShell を起動し、コマンドを実行します。

管理サイトで表示された「URL」と「証明書」の情報が必要となりますので、あらかじめ準備しておいてください。

☑ ログインには、Office 365 で作成した ID とパスワードを使用してください。

 スタートメニューから、Microsoft Azure Active Directory Module for Windows PowerShell を 起動します。

【2】以下のコマンドを実行して、接続を行います。

コマンド: Connect-MsolService

必正しく接続されるとサインイン画面が表示されますので、ログインします。

✓「'Connect-MsolService' は、コマンドレット、関数、(中略)の名前として認識されません。」という エラーが出た場合は、以下の URL を起動し、「手順1:必要なソフトウェアをインストールします」 を行ってください。

https://docs.microsoft.com/ja-jp/office365/enterprise/powershell/connect-to-office-365powershell#step-1-install-required-software

✓Windows 7 環境の場合、「このアセンブリは現在読み込まれているランタイムより新しいランタイム でビルドされているため、読み込むことができません。」というエラーが表示されることがあります。 その場合は、Microsoft Azure Active Directory Module for Windows PowerShell のバージョンアップ を行ってください。

—	\times
	^
	~

【3】以下のコマンドを実行して、変数を登録します。

コマンド:

\$domain = "「SaaS ID 連携」画面の<Domain>" \$brand = "<表示名(例: Optimal Biz>" \$entity_id = "「SaaS ID 連携」画面の<URL>" \$login_url = "「SaaS ID 連携」画面の<URL>" \$logout_url = "「SaaS ID 連携」画面の<URL>" \$cert = "「SaaS ID 連携」画面の<証明書>"

✓ダブルクォーテーション("")の中は、管理サイトで設定した内容に置き換えます。メモ帳などで編集を 行ってから、コマンドを実行するようにしてください。

✓「SaaS ID 連携」画面とは、管理サイトの画面となります。詳細は、以下を参照してください。
⑦ 「SaaS ID 連携の設定を行う(管理サイト)」の手順【7】



【4】以下のコマンドとパラメーターを実行して、Federation を設定します。

コマンド:

Set-MsolDomainAuthentication

パラメーター: -Authentication Federated -DomainName \$domain -FederationBrandName \$brand -ActiveLogOnUri \$login_url -PassiveLogOnUri \$login_url -SigningCertificate \$cert -IssuerUri \$entity_id -LogOffUri \$logout_url -PreferredAuthenticationProtocol SAMLP デコマンドとパラメーターは一行で入力してください。

▶ コマンドとパラメーター、パラメーターとパラメーターの間は半角スペースを入力してください。

この手順では、コマンドを実行しても何も起こりません。設定が正しく行われているかは、手順【5】
 で確認してください。



【5】以下のコマンドを実行して、設定した値が入力されていることを確認します。

コマンド:

Get-MsolDomainFederationSettings -Domain <「SaaS ID 連携」画面の<Domain>>

✓<「SaaS ID 連携」画面の<Domain>>は、該当のドメインに置き換えてください。
 ✓「SaaS ID 連携」画面とは、管理サイトの画面となります。詳細は、以下を参照してください。
 (テ)「SaaS ID 連携の設定を行う(管理サイト)」の手順【7】

🔰 Windows PowerShell 用 Windows Azure Active Directory モジュール	—		×
PS C:¥WINDOWS¥system32> Set-MsolDomainAuthentication -Authentic DomainName \$domain -FederationBrandName \$brand -ActiveLogOnUri veLogOnUri \$login_url -SigningCertificate \$cert -IssuerUri \$ent	ation \$login tity_id	Federate _url -Pa -LogOff	ed - ^ assi Uri
δlogout_uri -rreferredAuthenticationFrotocol δAMLr_			
			~

【6】設定した値が表示されます。誤りがないことを確認してください。

「●値の開始位置と終了位置の数文字を確認するなどの方法で行ってください。

🔉 Windows PowerShell 用 Windows Azure Active	: Directory モジュール	- 0	×
PS C:¥WINDOWS¥system32> Get-MsolDomainF	ederationSettings -Domain		^
ActiveLogOnUri	: https://		
DefaultInteractiveAuthenticationMethod FederationBrandName			
ussueruri LogOffUri MetadataExchangeUri	: https:// : https:// :		
NextSigningCertificate OpenIdConnectDiscoveryEndpoint			
PassiveLogOnUri SigningCertificate	: https://		
	12 Report Contraction Contractions (Section 2019)		
	STOLEN AND DESCRIPTION OF A DECK	100	
	Preside of the second s		
	이는 45 Million (1995) 46 Million (1995)		
SupportsMfa			
PS C:¥WINDOWS¥system32> _			
			~

【7】以下のコマンドを実行してください。

コマンド:

Get-MsolServicePrincipal -AppPrincipalId [アプリケーション ID]

🔎 Windows PowerShell 用	Windows Azure Active Directory モジュール ー		×
PS_C:¥WINDOWS¥system32>	• Get-MsolServicePrincipal -AppPrincipalId 📃		^
Futana tan Data	Suntan Dunting Serielienting EntersionDateOb	.:	
AccountEnabled	True		
Addresses AccPrincipalId	{Microsoft.Online.Administration.RedirectUri	}	
PlayName			
ServicePrincipalNames	{https://		
TrustedForDelegation :	False		
PS C:¥WINDOWS¥system32>			
			~

【例)

アプリケーション ID が「aaaaaaaa-1111-bbbb-2222-ccccccccccc」の場合は、下の画像のように なります。

▶ 下の画像は手順用に作成した画面であり、実際のものとは異なります。

> Get-MsolServicePrinc	pal-aaaaaaaa-1111-bbbb-2222-cccccccccccc	\wedge
ExtensionData	System.Runtime.Serialization.ExtensionDataObject	
AccountEnabled	True	
Addresses	: <u>{Microsoft.Online.Administration.RedirectU</u> ri}	
AppPrincipalld	aaaaaaaa-1111-bbbb-2222-cccccccccccc	
DisplayName		
Objectid	: ddddddd-3333-eeee-4444-fffffffffff	
ServicePrincipalNames	(https://example.onmicrosoft.com/	
, aaaaaaa	11111-DDDD-2222-CCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCC	
I rustedr or Delegation	L F alse	
		\sim

[8] 以下のコマンドを実行して、RoleMemberObjectID に ObjectID を指定します。

コマンド: Add-MsolRoleMember

パラメーター:

-RoleName "User Administrator" -RoleMemberType ServicePrincipal -RoleMemberObjectID <「Get-MsolServicePrincipal」実行時の<ObjectID>>

✓<「Get-MsolServicePrincipal」実行時の<ObjectID>は、該当の ObjectID に置き換えてください。
✓コマンドとパラメーターは一行で入力してください。

どコマンドとパラメーター、パラメーターとパラメーターの間は半角スペースを入力してください。



【例)

> Add-MsolRoleMember -RoleName "User Administrator" -RoleMemberType ServicePrincipal -RoleMemberObjectID dddddddd-3333-eeee-4444-fffffffffffff

1.3.4 ユーザーを登録する(管理サイト)

◆操作アプリケーション:管理サイト

管理サイトでユーザーの登録および設定を行います。

【1】 [ユーザー] → [一覧] →一覧から対象となるユーザーをクリックします。

【2】「姓」、「名」、「メールアドレス」を確認します。

SaaS ID 連携を行うためには、姓欄と名欄が入力されているか、名前欄の姓と名が半角スペースで区切られている必要があります。

✓メールアドレスのドメインは、Office 365 アカウントに登録したドメインである必要があります。
 ✓修正が必要な場合は、(A) [編集] をクリックします。

「▲新規でユーザーを登録する場合は、「↓」ボタンをクリックしてください。

検索: ユーザー名 昇順: ユーザー名	E magit de la complete de la construcción de la con
	管理 パッケージ 「Appとブック」設定 アクセス制御 その他 ▼ 操作 ▼ 管理情報 パスワード
	2 名前 フリガナ (なし) 現在のパスワード ****** 編集
	性 名 る コーナf ID
	ユーサーD SaaS ID連携 メールアドレス Office 365 (なし)
	ユーザー種別 管理者 ^{組織} (なし)
	機器認証制限 制限なし (A) <u>編集</u>

- 【3】「パッケージ」→[編集]→「ビジネスアプリパッケージ」の「Office 365」のチェックボックスにチェッ クを入れます。
- 【4】 [保存]をクリックします。

●チェックボックスのチェックを外した場合は、Office 365 へのサインインが禁止されます。

●チェックボックスのチェックを外した場合でも、Office 365 上からユーザーは削除されません。管理 サイトからユーザーを削除することで、Office 365 上からも削除されます。

管理 パッケージ 「Appとブック」設定	アクセス制御	その他 🗸	操作 ▼
ライセンス - 編集中			
ビジネスアプリパッケージ 3 Office 365			
		取消	4 _{保存}

【5】「管理」をクリックします。

[6]「SaaS ID 連携」パネルの「Office 365」の表示が更新され、「ユーザー作成・更新完了」が表示されていれば SaaS ID 連携は完了です。

✓表示が切り替わるまで、時間がかかります。また、管理サイトの更新を行うと、表示が切り替わる場合があります。しばらくしても完了にならない場合は、更新を行ってみてください。

ど「ユーザー作成・更新処理中」のまま表示が切り替わらない場合は、SaaS ID 連携の設定に失敗している可能性があります。設定内容に誤りがないか確認してください。

■SaaS ID 連携パネルの表示文言

(なし): SaaS ID 連携なし ユーザー作成・更新処理中:ユーザー作成中 ユーザー作成・更新処理待ち:ユーザー作成待機中 ユーザー作成・更新完了:ユーザー作成が完了 ユーザー作成・更新失敗:ユーザー作成が失敗

管理 パッケージ	「Appとブック」設定	アクセス制御	その他 👻	操作 ▼
管理情報		パスワード		
名前		現在のパス5 *****	フード	
フリガナ (なし)				編集
姓		機器		
名		機器数 <u>1</u>		
ユーザーID		SaaS ID連携		
メールアドレス	a Northeadd ag	<mark>6</mark> Office 365 ユーザーゼ	「成・更新完了	
ユーザー種別 管理者		Google Wor (なし)	kspace	
^{組織} (なし)				
機器認証制限制限は				
	編集			

1.3.5 アクセス制御を設定する(管理サイト)

◆操作アプリケーション:管理サイト

エージェント認証済みの端末のみを Office 365 ヘログインできるようにしたい場合には、アクセス制御の設定を行います。エージェントが未インストールおよび未認証の端末での Office 365 へのログインを防止でき、セキュアな利用環境を構築できます。

📝 本機能は Android、iOS、Windows 端末のみ有効です。Mac OS 端末では使用できません。

- アクセス制御の設定を行わなくても、SaaS ID 連携による Office 365 へのログインはできます。ただし、エージェント未認証の端末でもログインができるため、設定をオンにすることを推奨しています。
- アクセス制御の設定を行ったユーザーは、管理サイトへログインができなくなります。アクセス制御の設定を行う場合は、管理サイトへログインするためのユーザーと SaaS ID 連携に使用するユーザーは分けて作成してください。
- 【1】 [ユーザー]→[一覧]→一覧から対象を選択→[アクセス制御]→[新規作成]をクリックします。

	2	CLEME THE PARTY OF	and Production				
Г	管理	パッケージ	「Appとブック」設定	アクセス制御	その他 🗸		操作 ▼
	アクセス	く制御					
	(設定)	なし)					
					1	新規作成	

- 【2】「エージェント認証済」のチェックボックスにチェックを入れます。
- 【3】[保存]をクリックします。

E para and it is a second state.	
管理 パッケージ 「Appとブック」設定 アクセス制御 その他 マ	操作 ▼
アクセス制御 - 編集中	
2 次の条件を全て満たす場合のみサインインを許可 □ エージェント認証済	
取消 3	保存
	_

1.3.6 機器をユーザーに紐づけする(管理サイト)

◆操作アプリケーション:管理サイト

管理サイトで機器をユーザーに紐づけします。

【1】 [機器]→[一覧]→一覧からユーザーを紐づけたい機器の「詳細」にある 🕥 をクリックします。

【2】 [管理情報の編集]をクリックします。

Optimal Biz	🚺 機器 💄 ユーザー 👹 組織 🍄 設定 🖺 ログ 🖿 明速サービス		
一覧		チインで利用	通信日時: 2018/03/28 13:43:29
ネットワークマップ	+	新規作成	同期
認証手順	機器名 🗸 検索 絞り込み		05
全機器一括設定	検索条件:		
入力項目のカスタマイズ	1 / 1 ページ (6 件)	*	1.710
メッセージ通知	■ 機器名 * OS * 電話番号 * ユーザー * 組織 * 通信日時 * 	詳細	電話番号
CSVで追加	9日前	\odot	7-#-
CSVで編集	9日前	\odot	ine in the second se
CSVで削除	8日前	\odot	組織
CSVでクライアント証明書紐 付け	9日前	0	(Sec.
CSVをダウンロード >	9日前	\odot	2 管理情報の編集
	B 2745 2.2 200 200 200 200 200 200 200 200 200	\odot	設定
			設定の割り当て
			設定テンプレートの割り当て
			他の設定を見る
			操作
			リモートロック
			他の操作を見る
		-	情報
			ログ
	©2017 OPTIM <u>利用規約</u> で <u>プライバシーポリシー</u> で <u>サイトマップ</u>		デバイス

- 【3】「所属」の〔ユーザー〕を選択します。
- 【4】リストボックスから紐づけしたいユーザーを選択します。
- 【5】 [保存]をクリックします。



1.4 Google Workspace の SaaS ID 連携導入手順

Google Workspace での SaaS ID 連携の手順です。

- ☑ 手順で使用している画面は、Google 社のアプリケーションに準拠します。
- ☑ Google 社の仕様変更などで予告なく変更される場合があります。その場合は、実際の画面に従って登録を行ってください。
- ☑ Android Enterprise で使用した Google Workspace アカウントは登録できません。

◆導入時の流れ

項目	ページ
SaaS ID 連携の設定を行う(管理サイト)	<u>30</u>
シングルサインオンを設定する(Google 管理コンソール)	<u>32</u>
認証情報を作成する(Google APIs)	<u>34</u>
サービスアカウントへ権限を付与する(Google 管理コンソール)	<u>40</u>
プロビジョニングの設定を行う(管理サイト)	<u>42</u>
を登録する(管理サイト)	44
アクセス制御を設定する(管理サイト)	<u>47</u>
機器をユーザーに紐づけする(管理サイト)	<u>48</u>
ユーザー種別を確認・変更する(Google 管理コンソール)	50

1.4.1 SaaS ID 連携の設定を行う(管理サイト)

◆操作アプリケーション:管理サイト

管理サイトで SaaS ID 連携の設定を行います。

【1】 [設定] → [サービス環境設定] → [SaaS ID 連携] → 「Google Workspace」→ [編集] をクリッ クします。

Office 365 Google Workspace	
SaaS ID連携	
ID連携 無効	
ログインページURL (なし)	
ログアウトページURL (なし)	
パスワード変更URL (なし)	
証明書 (なし)	
Apps Domain (なし)	
Admin Email (なし)	
Service Account JSON (なし)	
	編集

- 【2】 「ID 連携」のチェックボックスにチェックを入れます。
- 【3】「Apps Domain」、「Admin Email」を入力します。

☑ Apps Domain: Google Workspace アカウントに登録したドメイン Admin Email: Google Workspace 購入時に配布された特権管理者のメールアドレス

【4】 [保存]をクリックします。

Office 365 Google Workspace
SaaS ID連携 - 編集中
2 □ ID連携
3 Apps Domain
Admin Email
取消 <mark>4 保存</mark>

【5】ID 連携が有効になり、各種 URL と証明書が表示されます。Google 管理コンソール画面で設定を行うときに必要となります。

✓証明書の情報は、あらかじめ(A) [証明書ダウンロード] からファイルのダウンロードをしておいて ください。管理コンソール画面での設定時に、ファイルのアップロードが必要となります。

Office 3	65 Google Workspace
Saa	S ID連携
ID) 有	連携 · 効
	グインページURL
5	Sector allows provide a second second block to provide the second s
	グアウトページURL
10	スワード変更URL
(A)	And a stream provide the anti-theory and the strength of the s
証	_{明書} 明書ダウンロード
Ap	pps Domain
Ad	Imin Email
Se (た	ervice Account JSON よし)
	編集

1.4.2 シングルサインオンを設定する(Google 管理コンソール)

◆操作アプリケーション:Google 管理コンソール

Google 管理コンソールでシングルサインオンを設定します。 管理サイトで表示された「URL」と「証明書」の情報が必要となります。あらかじめ準備しておいてください。

🕑 ログインには、Google Workspace 購入時に配布された情報を使用してください。

▶ 初回ログイン時には、パスワードの変更を求められます。画面に従って変更を行ってください。

【1】Google 管理コンソールにログインし、[セキュリティ] をクリックします。

\equiv Google Admin	Q、 ユーザー、グループ、設定を検索			8 ? 🏭 🛑
管理コンソール				4
	🛓 ユーザー 🔹 🔿	■ お支払い ^	ドメイン ^	
	ユーザーを追加 ユーザーの削除 ユーザーの名前またはメールアドレスを更新する	定規模入を管理 お支払いアカウント その他のサービスを利用する	ドメインの管理 ドメインを追加 プライマリ ドメインを変更する	
	予備のメールアドレス(メールエイリアス)を作成する グループ ▲ メーリング リストやポリシー適用のためグループを作 成します	アプリ ウェブアプリやモバイルアプリのアクセスと設定を管 理します	デバイス デバイスを管理し、組織のデータを保護します	
	アカウント設定 通道のプロフィールや設定を管理します	■ 1日後部門 ポリシー適用のためユーザーを部門に編成します	セキュリティ セキュリティ 起きがい、アラートや分析構築を確認 します	
	レポート 組織のユーザーや管理者のアクティビティを管理しま す	ビルディングとリソース ビルディング、会議室、リソースを管理、確認します	・ ルール アラートとアクションの段定ルールを管理します	
	留理者ロール 留理コンソール権限設定のためロールを割り当てます	データの移行 他のプロダクトやサービスからのデータを管理します	⑦ サポート ヘルブアシスタントをご利用ください	

【2】「サードパーティの ID プロバイダを使用したシングル サインオン(SSO)の設定」をクリックし ます。

⇒詳細内容が表示されます。

≡ Google Adr	nin	Q、 ユーザー、グループ、設定を検索		8	?	:	
セキュリティ							
			「」に運用落みです				
		セキュリティ	ログイン時の本人確認 ログイン時の本人確認	~			
			SSO 後の本人確認 ログイン時の本人確認				
			SSO を使用したログインでは、追加の本人確認を求 オフ: ユーザーのセキュリティ強化のために従業員の めない ID を使用します				
			「」」に説明済みです				
			SAML アプリケーションに対するシングル サインオン(SSO)の設定	~			
			ID プロバイダとして Google を使用したサードパーティ製アプリケーションのシングル サインオンの設定				
			サードパーティの ID プロバイダを使用したシングル サインオン(SSO)の設定	~]		
			サードパーティの ID プロバイダを使用して、管理対象の Google アカウントに対してシングル サインオンを設定します。				
			高度な保護機能プログラム ハイレベルの得意を必要とするユーザーのための、身も復回なセキュリティを設定します 登録	~			
			ユーザーに高度な保護機能プログラムへの登録を許可 する。ユーザー登録を有効にする。セキュリティ コー ド・リモート アクセス以外で使用するセキュリティ コ ードの生成を許可する				
			「」に選用高みです				

- 【3】「サードパーティの ID プロバイダで SSO を設定する」のチェックボックスにチェックを入れます。
- 【4】「ログインページの URL」、「ログアウトページ URL」、「パスワード変更 URL」を入力します。

 遼管理サイトで表示された各種 URL の情報を、該当箇所に入力してください。
- 【5】認証の確認に、管理サイトでダウンロードした証明書ファイルをアップロードします。
- 【6】「ドメイン固有の発行元を使用」のチェックボックスにチェックを入れます。
- 【7】 [保存] をクリックします。

▶ 「ネットワークマスク」の設定は不要です。

= =	Google Admin	Q 検索	
セキュリテ	ſ		0 0 0
	証明書	▲ ダウンロード	
		または、	
	オプション 2		
	IDP メタデータ		
3 🔽	サードパーティの ID プロ	バイダで SSO を設定する	
	サードパーティを ID プロ	バイダとして設定するには、次の情報を入力してください。 😮	
4	ログイン ページの URL	and a second to second the second secon	
	ログアウト ページ URL	システムと G Suite へのログイン用 URL	
	パスワード変更 URL	ユーザーがログアウトするときにリダイレクトする URL	
		 ユーザーがシステムでパスワードを変更する際にアクセスする URL です。定義すると、この URL はシングル サインオ ンが有効になっていない場合でキ表示されます	
5	認証の確認	ファイルを選択・アップロード	
		認証ファイルには、ログイン リクエストを確認するための Google 公開キーが含まれている必要があります。 🥝	
6	✓ ドメイン固有の発行す	元を使用 🥑	
	ネットワーク マスク		
		ネットワーク マスクは、シングル サインオンで有効にできるアドレスを決定します。マスクが指定されない場合、ネットワーク全体に対して SSO 機能が適用されます。マスクの区切りにはセミコロンを使用します(例: 64.233.167-904.99/32)。すべてのネットワークマ 72.14.0.0/16)。範囲を指定する場合はダッシュを使用します(例: 64.233.167-204.99/32)。すべてのネットワークマ スクは CIDR で終わる必要があります。	
		7 破棄 保存	

1.4.3 認証情報を作成する(Google APIs)

◆操作アプリケーション:Google APIs

Google APIs で認証情報を作成します。

☑ ログインには、Google Workspace 時に配布された情報を使用してください。

【1】Google APIs にログインし、ダッシュボード画面から[認証情報]をクリックします。

=	Google APIs	•		۹
API	API Manager	ダッシュボード	+ API を有効にする	
	ダッシュボード	有効な API		
出	ライブラリ	有効な API がありません		
0-	認証情報			

【2】 [作成] をクリックします。

API Manager 認証情報	
現在の選択内容ではページを表示できません。 するには、プロジェクトを選択してください。 作成	このページを表示

【3】プロジェクトを新規に作成するため、「プロジェクト名」を入力します。

⑦例) プロジェクト名: Optimal Biz プロジェクト名は任意の内容を入力してください。

- 【4】「メール通知」、「利用規約」について適宜選択します。
- 【5】 [作成]をクリックします。

	≡ Google APIs	
	新しいプロジェクト	
3	プロジェクト名 ② プロジェクト ID は です ② 編集	
4	新機能のお知らせ、パフォーマンスに関するアドバイス、フィードバック調査、特典に 関する最新情報をメールで受け取ります。 ○ はい ● いいえ すべてのサービスと関連 API について、適用される利用規約を遵守して利用することに 同意します。 ● はい ○ いいえ	
5	作成キャンセル	

【6】認証情報画面を再度表示し、[認証情報を作成]のリストボックスから[サービスアカウントキー] を選択します。

認言		
API 化し 一、 要で	へのアクセスには認証情報が必要です。使用する API を有効 、必要な認証情報を作成してください。API に応じて、API キ サービス アカウント、または OAuth 2.0 クライアント ID が必 す。詳しくは、API ドキュメントをご覧ください。	
12 1	証情報を作成 👻	
A S	PI キー シプル API キーを使用してプロジェクトを識別し、割り当てとアクセスを確認しる	ます
0. 	Auth クライアント ID ーザーのデータにアクセスできるようにユーザーの同意をリクエストします	
サロ	ー ビス アカウント キー ボット アカウントによるサーバー間でのアプリレベルの認証を有効にします	

- 【7】「サービスアカウント」のリストボックスから[新しいサービスアカウント]を選択します。
- 【8】「サービスアカウント名」を入力します。

Ø例)
 サービスアカウント名: Optimal Biz

✓半角英数字の ID で入力してください。

【9】「役割」のリストボックスから「Project」→「オーナー」を選択します。

【10】 [作成]をクリックします。

⇒JSON ファイルがダウンロードされます。

ぼサービスアカウント ID は、サービスアカウント名から自動生成されます。

ービス アカウント 新しいサービス アカウント サービス アカウント名 ②	▼ 2011 100	
新しいサービス アカウント サービス アカウント名 💿	▼ 役割 @	
サービス アカウント名 🥥	役割 😰	
Terrar Inc.		
	役割を選択 👻	
サービス アカウント ID	選択	
gemanat. Commanda	Project	オーナー
ー のタイプ 密鍵を含むファイルをダウンロードします。この鍵を紛失す?	App Engine	編集者
に保管してください。	BigQuery	閲覧者
)JSON 推奨	Billing	サービス アカウント アクター
P12	Cloud Bigtable	参照者
P12 形式を使用したコードとの下位互換性を目的としていま	Cloud Debugger	
作成キャンセル	Cloud IoT	
+ F 2 C / D	Cloud KMS	
	Cloud Trace	
	Container Analysis	
	Container Builder	
	Datahub	
	Dataprep	

【11】 [閉じる]をクリックします。

⇒認証情報画面が表示されます。

 ⑦管理サイトの設定に必要なファイルとなります。

 Øコピーなどは存在しませんので、失くさないように保管してください。

新しい秘密鍵	
.json がパソコンに保存されました。この鍵は コピーはありません。大切に保管してください。	は他の
	閉じる

【12】 [サービスアカウントの管理] をクリックします。

認証情報			
認証情報 OAuth 同意画面 ドメインの確認			
認証情報を作成 -			
有効な API にアクセスするための証明書を作成します。詳しくは、API ドキュメントをご覧・	ください。		
サービス アカウント キー			サービス アカウントの管理
ID	作成日 ~	サービス アカウント	
- Annual An	2017/06/19	ing in case in the	Ŧ

【13】手順【8】で作成したサービスアカウント名を選択します。 【14】 [■] →「編集]をクリックします。

ナービス アカウント	🖢 サービス アカウントを作成 🛛 盲 削除 🔸	2 権限			
゜ロジェクト「 」のサ	ービス アカウント				
ービス アカウントは Compute Engine VM で	『実行されているコード、App Engine アプリ、Google J	u外で実行されているシステムなどの Google Cloud サ	ービス ID を表します。 詳細		
3 ービス アカウントを検索します					
□ サービス アカウント名 <	サービス アカウント ID	鍵 ID	鍵の作成日	オプション	
	and the second second	ALC: NOT THE REPORT OF	2017/06/19		:
					14. 編集
					削除

【15】[G Suite ドメイン全体の委任を有効にする]のチェックボックスにチェックを入れます。 【16】 [保存]をクリックします。

☑ 同意画面の入力は任意で設定してください。

<section-header><section-header><section-header><section-header><section-header><section-header><text><text><text><text></text></text></text></text></section-header></section-header></section-header></section-header></section-header></section-header>		
 サービス アカウント名 ② G Suite ドメイン全体の委任を有効にする 手動での認証なしで、このサービス アカウントが G Suite ドメインのすべてのユーザーデータにアクセスすることを許可します。詳細 G Suite ドメインの設定を変更するには、OAuth 同意画面でサービス 名を設定する必要があります。以下でサービス名を割り当てるか、 OAuth 同意画面を構成してください。 局意画面のサービス名 サービス名 	サービス アカウントの編集	
 I S Suite ドメイン全体の委任を有効にする 手動での認証なしで、このサービス アカウントが G Suite ドメインのすべてのユーザーデータにアクセスすることを許可します。詳細 G Suite ドメインの設定を変更するには、OAuth 同意画面でサービス 名を設定する必要があります。以下でサービス名を割り当てるか、OAuth 同意画面を構成してください。 局意画のサービス名 サービス名 	サービス アカウント名 📀	
 IS G Suite ドメイン全体の委任を有効にする 手動での認証なしで、このサービスアカウントがG Suite ドメインのすべてのユーザーデータにアクセスすることを許可します。詳細 G Suite ドメインの設定を変更するには、OAuth 同意画面でサービス名を設定する必要があります。以下でサービス名を割り当てるか、OAuth 同意画面を構成してください。 同意画面のサービス名 サービス名 		
 G Suite ドメインの設定を変更するには、OAuth 同意画面でサービス 名を設定する必要があります。以下でサービス名を割り当てるか、 OAuth 同意画面を構成してください。 同意画面のサービス名 サービス名 	15 G Suite ドメイン全体の委任を有効にする 手動での認証なしで、このサービス アカウントが G Suite ドメインのすべてのユーザ ーデータにアクセスすることを許可します。詳細	
同意画面のサービス名 サービス名 キャンセル ¹⁶ 保存 同意画面を設定	● G Suite ドメインの設定を変更するには、OAuth 同意画面でサービス 名を設定する必要があります。以下でサービス名を割り当てるか、 OAuth 同意画面を構成してください。	
サービス名 キャンセル <mark>16</mark> 保存 同意画面を設定	同意画面のサービス名	
キャンセル <mark>16</mark> 保存 同意画面を設定	サービス名	
キャンセル <mark>16</mark> 保存 同意画面を設定		
キャンセル <mark>16</mark> 保存 同意画面を設定		
	キャンセル <mark>16</mark> 保存 同意画面を設定	Ē

【17】トップページに戻り、「ダッシュボード」の [API を有効にする] をクリックします。

=	Google APIs	• Q	
API	API Manager	ダッシュボード 🛨 API を有効にする	
	ダッシュポード	有効な API	
Ш	ライブラリ	有効な API がありません	
0-	認証情報		

【18】ライブラリ画面の検索ボックスに「Admin SDK」を入力します。

■ Google APIs プロジェ	ワトを選択 ▼	٩				275 110	ø	0	
RPI API Manager	ライブラリ								
. ダッシュボード	Google API								
豊 ライブラリ									
o→ 認証情報	Q, 100 件以上のすべての API を検索								
	よく使われている API								
	Secole Cloud API Compute Engine API Biggover, API Cloud Strange Service Cloud Datastore API Cloud Delatastore API	Boogle Ckud Machine Learning Vision API Natural Language API Speech API Translation API Machine Learning Engine API	Coogle Maps API Google Maps SOK for IOS Google Maps SOK for IOS Google Maps SOK for IOS Google Placet API for IOS Google Placet API for IOS Google Placet API for IOS Google Maps Roads API ♡ ₹07년5	Soute APIs Chrve API Caledar API Gheata API Sheeta API Google Appa Marketplace SDK Admin SDK ¥ € €7/8	.	Mobile API Google Cloud Messagi Google Play Game Ser Google Play Developer Google Places API for	ng L ² rices API Androic	i	
	Social API Boogle+ API Boogle+ API Boogle+ Pages API Boogle+ Pages API Boogle+ Domains API	YouTube API YouTube Data API YouTube Analytics API YouTube Reporting API	Advertising API AdSense Management API DCM/0FA Reporting And Trafficking API Ad Exchange Selfer API DoubleClick Search API DoubleClick Black API	その他の一般的な API Analytics API URL Shortener API URL Shortener API PageSpeed Insights API Fusion Tables API Web Fonts Developer API					

【19】検索結果が表示されますので、「名前欄」から該当の「Admin SDK」を選択します。

ライブラリ					
Google API					
Q. Admin SDK					
名前	說明				
Admin SDK	Admin SDK lets administrators of enterprise domains to view and manage resources like user, groups etc. It also provides audit and usage reports of domain.				

【20】 [有効にする] をクリックします。

← Admin SDK< ▶ 有効にする						
この API について Admin SDK lets administrators of enterprise domains to view and manage resources like user, groups etc. It also provides audit and usage reports o	domain.			ドキュメント	この API を API Explorer で試す	* ^
この API で認証情報を使用 OAuth 20 によるユーザーデータへのアクセス このAPI を使用して、ユーザーデータにアクセスできます。[原証情報] ベージで OAuth 20 クライアント ID を存成してください。アプリがユー ザーデータにアクセスできるために、クライアント ID はユーザーの同意をリクエストします。Google に対して API 存び出しを行う場 合は、該当のクライアント ID を含めてください。 評職	2 2 7 7 7 9	ユーザーの同意	→ 2 - <i>∀-7-9</i>			
サーバー間インタラクション この API を使用すると、ウェブアプリケーションと Google サービス間のようなサーバー間インタラクションを実行できます。アプリレベルでの 認定を有効にするサービス アカウントか必要です。また、Google に対する API 呼び出しを認証するために使用されるサービス アカウント キー も必要です。 File	・ ・ ・ ・ ・ ・ サービス	RE	→ ■・ ・■・ Google サービス			

【21】トップページに戻り、認証情報画面から「クライアント ID」をコピーします。

どこの「クライアント ID」は、Google 管理コンソールの設定を行うときに必要となります。

認証情報				
認証情報 OAuth 同意画面 ドメインの確認				
認証情報を作成 👻 削除				
有効な API にアクセスするための証明書を作成し	ます。詳しくは、API ドキュメントをご	覧ください。		
OAuth 2.0 クライアント ID				
□ 名前	作成日 ~	タイプ	クライアント ID	
	2017/06/10	サービス アカウント クラ	Construction and the second	
のクライアント	2017/06/19	イアント		
のクライアント	2017/00/19	イアント		サービス 2
□ 0 クライアント サービス アカウント キー □ 10	2017/00/19	イアント	サービス アカウント	サービスフ

1.4.4 サービスアカウントへ権限を付与する(Google 管理コンソール)

◆操作アプリケーション:Google 管理コンソール

Google 管理コンソールでサービスアカウントへ権限を付与します。

Google APIs で設定した認証情報のクライアント ID が必要となりますので、あらかじめ準備しておいてください。

☑ ログインには、Google Workspace 購入時に配布された情報を使用してください。

【1】Google 管理コンソールにログインし、[セキュリティ]をクリックします。

≡ Google Admin	Q、 ユーザー、グループ、設定を検索			8 ? 🖩 🛑
管理コンソール				1
	<u>-</u> ਤ-ਮ- ^	(1) お支払い へ	۰ ×۲۶ ۲	
	ユーザーを追加 ユーザーの削除 ユーザーの名前またはメールアドレスを更新する 予備のメールアドレス(メールエイリアス)を作成する	定期購入を管理 お支払いアカウント その他のサービスを利用する	ドメインの管理 ドメインを追加 プライマリ ドメインを変更する	
	グループ メーリング リストやボリシー適用のためグループを作 成します	アブリ ウェブアブリやモバイルアブリのアクセスと設定を管 理します	デバイス デバイスを管理し、組織のデータを保護します	
	アカウント設定 組織のプロフィールや設定を管理します	■	セキュリティ ゼキュリティ ロチュリティ ログを行い、アラートや分析情報を確認 します	
	レポート	ビルディングとリソース ビルディング、会議室、リソースを管理、確認します	 ・ルール アラートとアクションの設定ルールを管理します 	
	留理者ロール 管理コンソール権限設定のためロールを割り当てます	データの移行 他のプロダクトやサービスからのデータを管理します	ジボート ヘルブアシスタントをご利用ください	

【2】 [API の制御] をクリックします。

■ Google Admin Q、ユーザー、グループ、設定を検索		8	?	
セキュリティ				
👽 セキュリティ	登録 ユーザーに悪度な保護機能プログラムへの登録を許可 する:ユーザー登録を頼勿にする。セキュリティ コー ド・リモートアクセス以外で使用するセキュリティ コ ードの生成を許可する 「 」 C運用落みです			
	コンテキストアウェア アクセス デバイスおよびユーザーの ID を使用して、Google Workspace アブリケーションのアクセスレベルを管理し、アクセス ポリシーを適用できます。	Ý		
	Google セッションの管理 Google セッションはたち (Google Fキュメントなど) のセッション総括規模を設立します。 セッション管理 ● ウェブ セッション総統期間: 14日間 「 」」に連用変みです	~		
	Google Cloud ゼッション管理(ベータ版) Google Cloud Platform Console や Cloud SDK のセッション継続時間を設定します	~		
	API の制御 サードパーティ劇アプリへの OAuth アクセスを管理し、ドメイン全体の受任を管理します	~		

【3】「ドメイン全体の委任」の[ドメイン全体の委任を管理]をクリックします。

\equiv Google	Admin Q、ユーザー、グループ、設定を検索			6	8	?	
セキュリティ > A	PI の制御						
		概要	0 個の制限付きの Google サービス 15 個の無制限の Google サービス	0 種類のサードパーティ製アプリを設定しました			
	API の制御		GOOGLE サービスを管理	サードパーティ製アプリのアクセスを管理			
	この設定により、自社およびサードバーティ制のアプ リケーションとサービスアカウントに対して、Google Winkspace RM - 0のアグゼスを許可または無障するこ とができます、優勝するアプリケーションにのみアグ せてる許可することにより、サードバーティ信アプリ ケーションが Google Workspace API にアクセスするこ とにたみ117 のを解放すたまで	設定	制限付きの Google サービスにアク	セスできないアプリをユーザーが使おうとした場合に、このメッセージが表示されま	ব		
			メッセージ(上限 300 文字)				
			 サードパーディによるすべての サードパーディ数アプリから Gou と、ログインスコープを含むすべ ドメインで所有する内部アプリ ドメインで所有している内部アプ Google Workspace Marketplace. And 載されます。 	API アクセスをブロックする gie Workspace データーのアクセス リクエストは拒否されます。この設定を有効にする にの OAuth スコープがブロックされます。詳細 を信頼する リは、制御またはブロックされている OAuth スコープへのアクセス対免除されます。 oid、iOS のホワイトリストに登録したアプリは、アプリのアクセス制御リストで自動的に	信		
				キャンセル 保行	存		
ドメイン全体の委任 デベロッパーは、開発したウェブアブリケーションとその他の API クライアントを Google に登録して、Gmail などの Google サービス内のデータへのアグ す。登録されたこれらのクライアントを管理者が年終すると、優々のユーザーの同意またはパスワードがなくても、クライアントはユーザーデータにアク ます。詳細 ドメイン全体の委任を管理							

- 【4】 [新しく追加]をクリックします。
- 【5】「クライアント ID」を入力します。

- 【8】 [承認]をクリックします。

 デベロッパー ザーデータに; 	が Google に登録したウェブ アプリケーションや他の AF アクセスすることを許可できます。	PI クライアントで、Gmail などの Google サービスのデータにアクセスできます。個別の件可やパスワード入力なして、登録されたクライアントがユー GOT IT	
APIクライア	4 新しく追加 クライアント情報をダウンロ		
(+ J-1.198			
名称	クライアントID	新しいクライアント ID を追加 スユーブ	
		5 05-72200	
		□ 既存のクライアントIDを上帯きする ⁽¹⁾ ○ Auth スコープ (カンマ区切り) X	
		https://www.googleapis.com/auth/admin.directc	
		7 Ovuth スコーブ (カンマを切り) × www.coordeasis.com/auth/admin.directory.user	
		≠n <mark>8</mark> ≇≋	

1.4.5 プロビジョニングの設定を行う(管理サイト)

◆操作アプリケーション:管理サイト

管理サイトでプロビジョニングの設定を行います。

【1】 [設定] → [サービス環境設定] → [SaaS ID 連携] → 「Google Workspace」→ [編集] をクリッ クします。

Office 365 Google Workspace
SaaS ID連携
ID連携 有効
ログインページURL
ログアウトページURL
パスワード変更URL
証明書 <u>証明書ダウンロード</u>
Apps Domain
Admin Email
Service Account JSON (なし) 編集

【2】「Service Account JSON」を入力します。

Google APIs で認証情報作成時にダウンロードしたファイルの値を入力してください。

【3】 [保存]をクリックします。

Office 365 Google Workspace	
SaaS ID連携 - 編集中	
✓ ID連携	
Apps Domain	
Admin Email	w]
2 Service Account JSON	
	取消 3 保存

1.4.6 ユーザーを登録する(管理サイト)

◆操作アプリケーション:管理サイト

管理サイトでユーザーの登録および設定を行います。

【1】 [ユーザー] → [一覧] →一覧から SaaS ID 連携を登録したいユーザーを選択します。

【2】「姓」、「名」、「メールアドレス」を確認します。

✔SaaS ID 連携を行うためには、姓欄と名欄が入力されているか、名前欄の姓と名が半角スペースで区切られている必要があります。

メールアドレスのドメインは、Google Workspace アカウントに登録したドメインである必要があります。

●修正が必要な場合は、(A) [編集] をクリックします。

▶ 📝 新規でユーザーを登録する場合は、 🚹 をクリックしてください。

検索: ユーザー名 昇順: ユーザー名	Energii (Comune I contrantes.	
	管理 パッケージ 「Appとブック」設定 フ	アクセス制御 その他 → 提作 →
	管理情報 23前	パスワード 現在のパスワード
	フリガナ (ナシレン)	*****
• 2 •	姓	機器
		機器数 <u>1</u>
	メールアドレス	SaaS ID連携 Office 365
	ユーザー種別 管理者	(なし) Google Workspace (なし)
	 組織 (なし)	
	機器認証制限 制限なし (A) _{編集}	

- 【3】「パッケージ」→[編集]→「ビジネスアプリパッケージ」の「Google Workspace」のチェックボックスにチェックを入れます。
- 【4】 [保存] をクリックします。 ②ビジネスアプリパッケージの「Google Workspace」にチェックを入れることで、Google Workspace 上にユーザーが作成されます。

●チェックボックスのチェックを外した場合は、Google Workspace へのサインインが禁止されます。
 ●チェックボックスのチェックを外した場合でも、Google Workspace 上からユーザーは削除されません。

	ineral Real Property in				
管理 パッケージ 「App	とブック」設定	アクセス制御	その他 🗸	操作	₹ -
ライセンス - 編集中					
3 ビジネスアプリパッケージ □ Google Workspace					
				取消 <mark>4 保存</mark>	

【5】「管理」をクリックします。

【6】「SaaS ID 連携」パネルの「Google Workspace」の表示が更新され、「ユーザー作成・更新完了」 が表示されていれば SaaS ID 連携は完了です。

ど「ユーザー作成・更新処理中」のまま表示が切り替わらない場合は、SaaS ID 連携の設定に失敗している可能性があります。設定内容に誤りがないか確認してください。

■SaaS ID 連携パネルの表示文言

(なし): SaaS ID 連携なし ユーザー作成・更新処理中:ユーザー作成中 ユーザー作成・更新処理待ち:ユーザー作成待機中 ユーザー作成・更新完了:ユーザー作成が完了 ユーザー作成・更新失敗:ユーザー作成が失敗

う 管理 パッケージ 「Appとブック」設定	アクセス制御	その他 🗸	操作 ▼
<pre></pre>	パスワード 現在のパスワ ****** 機器数 0 SaaS ID連携 Office 365 (なし) 6 Google Wor ユーザー作	7ード kspace F成・更新完了	

1.4.7 アクセス制御を設定する(管理サイト)

◆操作アプリケーション:管理サイト

エージェント認証済みの端末のみを Google Workspace ヘログインできるようにしたい場合には、アクセス制御の 設定を行います。エージェントが未インストールおよび未認証の端末での Google Workspace へのログインを防止 できるようになり、セキュアな利用環境を構築できます。

✓本機能は Android、iOS、Windows 端末のみ有効です。Mac OS 端末では使用できません。

- アクセス制御の設定を行わなくても、SaaS ID 連携による Google Workspace へのログインはできます。ただし、 エージェント未認証の端末でもログインができるようになるため、設定をオンにすることを推奨しています。
- どアクセス制御の設定を行ったユーザーは、管理サイトヘログインができなくなります。アクセス制御の設定を行う場合は、管理サイトヘログインするためのユーザーと SaaS ID 連携に使用するユーザーは分けて作成してください。
- 【1】 [ユーザー]→[一覧]→一覧から対象を選択→「アクセス制御」→[新規作成]をクリックします。

	2	in the	and Prophers (1)				
r	管理	パッケージ	「Appとブック」設定	アクセス制御	その他 🗸		操作 🗸
	アクセン	く制御					
	(設定	なし)					
						新規作成	

- 【2】「エージェント認証済」のチェックボックスにチェックを入れます。
- 【3】 [保存]をクリックします。

E mar and the second se	
管理 パッケージ 「Appとブック」設定 アクセス制御 その他 ▼	操作 ▼
アクセス制御 - 編集中	
2 次の条件を全て満たす場合のみサインインを許可 □ エージェント認証済	
取消保存	

1.4.8 機器をユーザーに紐づけする(管理サイト)

◆操作アプリケーション:管理サイト

管理サイトで機器をユーザーに紐づけします。

【1】 [機器]→[一覧]→一覧からユーザーを紐づけたい機器の「詳細」にある 🕥 をクリックします。

【2】 [管理情報の編集]をクリックします。

Optimal Biz	🚺 機器 💄 ユーザー 👹 組織 🔹 設定 睯 ログ 🖿 関連サービス	
一覧	機器 BFザインで利用	通信日時: 2018/03/28 13:43:29
ネットワークマップ	+ 新規作成	同期
認証手順	機器名 🗸 校密 絞り込み	05
全機器一括設定	検索条件:	
入力項目のカスタマイズ	1/1ページ(6件)	1.111
メッセージ通知	■ 機器名 • OS • 電話番号 • ユーザー • 組織 • 運信日時 • 詳細	電話番号
CSVで追加		7-#-
CSVで編集	9日前 📀	
CSVで削除	8日前 (3)	組織
CSVでクライアント証明書紐 付け	9日前 ()	1964
CSVをダウンロード >	9日前 ③	2 ^{管理情報の編集}
	日 9日前 ③	設定
		設定の割り当て
		設定テンプレートの割り当て
		他の設定を見る
		操作
		リモートロック
		他の操作を見る
		情報
		ログ
	©2017 OPTIM <u>利用規約</u> で <u>ブライバシーポリシー</u> で サ <u>イトマップ</u>	デバイス

- 【3】「所属」の〔ユーザー〕を選択します。
- 【4】リストボックスから紐づけしたいユーザーを選択します。
- 【5】 [保存]をクリックします。



1.4.9 ユーザー種別を確認・変更する(Google 管理コンソール)

◆操作アプリケーション:Google 管理コンソール

管理サイトで作成したユーザーは、「停止中のユーザー」に作成される場合があるため、ユーザーの種類を確認しま す。「停止中のユーザー」に作成されていた場合は、「アクティブなユーザー」に変更します。変更を行わないと、該 当ユーザーのアカウントは使用できません。

☑ ログインには、Google Workspace 購入時に配布された情報を使用してください。

【1】Google 管理コンソールにログインし、[ユーザー] をクリックします。

≡ Google Admin	Q、 ユーザー、グループ、設定を検索			s ? 🖩 🛑
管理コンソール				1
	<u>・</u> ユーザー へ	(1) お支払い へ	ドメイン ^ ***********************************	
	ユーザーを追加 ユーザーの削除 ユーザーの名前またはメールアドレスを更新する	定期職人を管理 お支払いアカウント その他のサービスを利用する	ドメインの管理 ドメインを追加 プライマリ ドメインを変更する	
	予備のメールアドレス (メールエイリアス) を作成する グループ メーリング リストやポリシー適用のためグループを作 成します	アブリ うェブアブリやモバイルアプリのアクセスと設定を管 環しまず	デバイス デバイスを管理し、組織のデータを保護します	
	アカウント設定 相場のプロフィールや設定を管理します	12歳部門 ポリシー適用のためユーザーを部門に編成します	セキュリティ セキュリティ設定を行い、アラートや分析情報を確認 します	
	レポート 組織のユーザーや管理者のアクティビティを管理しま す	 ビルディングとリソース ビルディング、会議室、リソースを管理、確認します 	・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	管理者ロール 管理コンソール推現設定のためロールを割り当てます	データの移行 他のプロダクトやサービスからのデータを管理します	ジボート ヘルブアシスタントをご利用ください	

- 【2】「ユーザーの種類別」から[停止中のユーザー]を選択します。
- 【3】該当のユーザーをクリックします。

≡ Google Admin	Q 検索			?	111 (佐)
ユーザー				4ª Ŧ	:
フィルタ	フィルタ: 停止中のユーザー				×
ユーザーの種類別	3 ^{名前} ▲	最終ログイン	メールの使用量		
停止中のユーザー		18:11 GMT-7	0 GB	1	* *
組織別					
All and a second se					
				+	

【4】 [開始手順]をクリックします。 新規作成済み <u>開始手順</u> 0 GB 使用されているメールの保存容量 自分がオーナーのドキュメント アカウント プロフィール、セキュリティ、エイリアス、使用状況に関する統計情報を表示、管理します。 2個の G Suite サービスが有効です アクティブな G Suite サービスを表示します。 グループ(**0**) グループ メンバーを追加、編集します。 ライセンス管理 割り当てられているライセンスを確認します。 もっと見る

【5】以下のどちらかを行うことで、アクティブなユーザーに変更できます。

《株式会社サービスにログインする》

・画面に記載の(A)「URL」にログインし、該当ページの内容に従い、設定を行ってください。

《メールを送信する》

Г

• (B) [メールを送信します] をクリックします。メールの受信内容に従い、設定を行ってください。

開始手順				*
セキュリティを強化し、 ザーに初回ログイン時ば ます。これには携帯電調 ユーザー admin さんの を入力することでログー グインしてください。 迷惑行為や不正行為の[0	迷惑行為や不正行為に対処するプロセ こ身元の確認を求めてから、アカウント 話経由での身元確認が必要です。 携帯電話にパスコードが記載されている インできます。admin さんは、身元を確 ち止にご協力いただき、ありがとうごさ	2スの一環と 〜へのログイ る通知が届き 値認するため ざいます。	して、Google T ンを許可するこ ます。このパス に、最初にウェ	ではユー ことがあり スコード こブからロ
株式会社 サービスにロ! https://	ゲイン:	_		
ユーザー名				
パスワード				
********* パスワードを書	長示			
			B	
		印刷	メールを送	信します

1.5 ログイン方法

SaaS ID 連携を使用してのログインには、Federation サーバーのタイムアウトが存在します。3 分以内に該当アプ リケーションまたはブラウザーヘログインしてください。

- また、ログインに失敗した場合は、再度最初から手順に従ってログインを行ってください。
 - ⑦ 「Office 365 にログインする」 53 ページ
 - Google Workspace にログインする」61ページ

1.5.1 Office 365 にログインする

1.5.1.1 Android の場合

- 【1】アプリまたはブラウザーから Office 365 を起動します。
- 【2】管理サイトに登録されている「メールアドレス」を入力します。
- 【3】 [次へ] をタップします。 ⇒管理サイトのログイン画面が表示されます。

- 【4】「ユーザーID またはメールアドレス」と「パスワード」を入力し ます。
- 【5】[ログイン]をタップします。

⇒ログインが完了し、アプリケーションのトップ画面に遷移しま す。

▶ 管理サイトで、アクセス制御の設定がオンになっている場合は、機器の選択画面に遷移します。手順【6】から【8】に従い、ログインを行ってください。

【6】ご使用の機器を選択してください。

ど管理サイトで、アクセス制御の設定がオンになっている場合のみ表示されます。

©2018 licrosoft 利用規約 プライバシーと Cookie
Business ID
ログインしてください。
企業コード a b34_mem_171021_1
パスワード
□ ログイン状態を保持
5 ログイン
日本語 English 间译半义 东西半义
日本語 english mij4平文 末面平文 利用規約 ブライバシーボリシー ヘルプ
日本語 English 画は中文 東西中文 利用規約 プライバシーポリシー ヘルプ 記 Business ID
日本語 english mik4中文 素面中文 利用規約 プライバシーボリシー ヘルプ ご利用中の端末を選択してください。
日本語 english miki中文 東西中文 利用規約 プライパシーボリシー ヘルプ ご利用中の端末を選択してください。 こ

Microsoft

サインイン

2 メール、電話、Skype

アカウントをお持ちではない場合、作成でき アカウントにアクセスできない場合 【7】ダイアログを確認し、[OK] をタップします。

【8】 [今すぐ開始]をタップします。 → ログインが空了↓ アプリケーションのトップ

⇒ログインが完了し、アプリケーションのトップ画面に遷移します。



プライバシーに関する声明

1.5.1.2 iOS の場合

【1】アプリまたはブラウザーから Office 365 を起動します。	サインイン
 	Word で使用したいアカウントのメール アドレスま たは電話番号を入力します。
【3】[次へ]をタップします。	2 メール アドレスまたは電話番号
⇒管理サイトのログイン画面が表示されます。	<mark>3</mark>

- 【4】「ユーザーID またはメールアドレス」と「パスワード」を入力し ます。
- 【5】 [ログイン] をタップします。

【6】ご使用の機器を選択してください。

●機器の選択画面が表示されない場合は、手順【10】へ進んでください。

✓管理サイトで、アクセス制御の設定がオンになっている場合のみ表示されます。

【7】ダイアログを確認し、[OK] をタップします。





56

【12】 [表示]をタップします。

⇒ログインが完了し、アプリケーションのトップ画面に遷移します。



1.5.1.3 Windows の場合

【1】Office 365 のログイン画面を表示します。

☑例として、ブラウザーで Office 365 を使用しています。

- 【2】「メールアドレス」を入力します。
- 【3】[次へ]をクリックします。



【4】「ユーザーID またはメールアドレス」を入力します。

【5】 [ログイン]をクリックします。

⇒ログインが完了し、アプリケーションのトップ画面に遷移します。

ど管理サイトで、アクセス制御の設定がオンになっている場合は、機器の選択画面に遷移します。手順
【6】から【8】に従い、ログインを行ってください。

Business ID
ログインしてください。
4 = ID = E = L = L = L = L = L = L = L = L = L
パスワード
日本語 English 简体中文 繁體中文
利用規約 プライバシーボリシー ヘルプ

【6】ご使用の機器を選択してください。

✓管理サイトで、アクセス制御の設定がオンになっている場合のみ表示されます。

	Business ID	
:		

Business ID Windows 画面の指示に従って端末でログインを行ってください。 Windowsでログインする場合はこの後にダイアログで「開く」を選択してください。 ОК

【7】ダイアログを確認し、[OK] をクリックします。

【8】 [BizAuthReq.exe を開く] をクリックします。

⇒ログインが完了し、アプリケーションのトップ画面に遷移します。

	BizAuthReq.exe を開きますか?	×
	BizAuthReq.exe リンクに行った操作を記憶する	less ID
	BizAuthReq.exe を開く	開かない
	Windows	
:	BUILT OFTEN	

ど 使用しているブラウザやアプリによっては、ログインするときに以下のような画面やダイアログが、表示される ことがあります。

🥭 https:// — 🗆 X	Internet Explorer X
💼 📃 Business ID	この Web サイトがこのコンピューターのプログラムを開くことを許可しますか? 発信元:
しばらくそのままお待ちください。 ダイアログが表示された場合は、「開く」を選択してください。	プログラム: アドレス: プログラム: アドレス: プログラム: アドレス: プログラム: アドレス: プログラム: アドレス: プログラム: アドレス: プログラム: アドレス: プログラム: プログラム: アドレス: プログラム: プログログログログ アログ ア
• ver. • ©2011	Web コンテンツにプログラムを開くことを許可することは便利ですが、コンピュー ターに害を与える可能性があります。コンテンツの送信元を信頼しない限り、許可しないでください。危険性の説明

1.5.2 Google Workspace にログインする

1.5.2.1 Android の場合

- 【1】アプリまたはブラウザーから Google Workspace を起動します。 ②例として、G mail アプリを使用しています。
- 【2】管理サイトに登録されている「メールアドレス」を入力します。
- 【3】 [次へ]をタップします。

【4】 [同意する] をタップします。 ⇒管理サイトのログイン画面が表示されます。

- 【5】「ユーザーID またはメールアドレス」と「パスワード」を入力し ます。
- 【6】 [ログイン] をタップします。 ⇒ログインが完了し、アプリケーションのトップ画面に遷移します。
 - ▶ 管理サイトで、アクセス制御の設定がオンになっている場合は、機器の選択画面に遷移します。手順【7】から【9】に従い、ログインを行ってください。



Business ID

ご利用中の端末を選択してください。

•

10010.00 E2011 (0710)

【7】ご使用の機器を選択してください。

✓管理サイトで、アクセス制御の設定がオンになっている場合のみ表示されます。

【8】ダイアログを確認し、[OK]をタップします。

【9】 [今すぐ開始]をタップします。 ⇒ログインが完了し、アプリケーションのトップ画面に遷移しま す。



🗌 次回から表示しない

キャンセル 今すぐ開始



1.5.2.2 iOS の場合

【1】アプリまたはブラウザーから Google Workspace を起動します。 Google ☑例として Gmail アプリを使用しています。 ログイン 【2】管理サイトに登録されている「メールアドレス」を入力します。 Google アカウントを使用してください。 アプリでも Google サービスにログインし ・ ます。 【3】 [次へ] をタップします。 ⇒管理サイトのログイン画面が表示されます。 メールアドレスまたは電話番号 メールアドレスを忘れた場合 アカウントを作成 3 【4】「ユーザーID またはメールアドレス」と「パスワード」を入力し 💼 🔤 Business ID ます。 【5】 [ログイン] をタップします。 ログインしてください。 企業コード Ba I and the second of ユーザーIDまたはメールアドレス Δ 1 パスワード **i** ○ ログイン状態を保持 5 ログイン 日本語 English 简体中文 繁體中文 利用規約 プライバシーポリシー ヘルプ 【6】ご使用の機器を選択してください。 Business ID ▶ 「 機器の選択画面が表示されない場合は、手順【9】へ進んでくださ い。 ご利用中の端末を選択してください。 ▶ 管理サイトで、アクセス制御の設定がオンになっている場合のみ表 示されます。 その他の候補端末

中の端末を選択してください。 画面の指示に従っ て端末でログイン を行ってくださ い。 iOSでログインす る場合はこの後に 通知をタップして ください。 7 ОК 今 承認要求が送信されました。いますぐ確認しま すか? Business ID ご利用中の端末を選択してください。 D Ę その他の候補端末 0 • C Inclusion in the 機器情報 機器名 ユーザー情報 ログイン画面に戻って進んでください。 ок 位置取得日時

【7】ダイアログを確認し、[OK] をタップします。

【8】画面上部に表示される「通知」をタップします。

【9】 [OK] をタップします。

【10】 [許可しない] または [OK] をタップします。



【11】 [OK] をタップします。 ⇒ログインが完了し、アプリケーションのトップ画面に遷移しま す。

☑初回ログイン時のみ表示されます。



おなじみの Gmail のデザインが 新しくなりました



1.5.2.3 Windows の場合

- [1] Google Workspace のログイン画面を表示します。
 - ☑例として、ブラウザーで Gmail を使用しています。
- 【2】「メールアドレス」を入力します。
- 【3】 [次へ]をクリックします。 ______

Google ログイン Admin Console に移動する	
2 メールアドレスまたは電話番号	
メールアドレスを忘れた場合	
ご自分のパソコンでない場合は、ゲストモードを使用して非公 開でログインしてください。 ヘルプ	
日本語 • ヘルプ ブライバシー 規	9

【4】 「ユーザーID またはメールアドレス」を入力します。

【5】 [ログイン]をクリックします。

⇒ログインが完了し、アプリケーションのトップ画面に遷移します。

ど管理サイトで、アクセス制御の設定がオンになっている場合は、機器の選択画面に遷移します。手順
【6】から【8】に従い、ログインを行ってください。

Business ID
ログインしてください。
企業⊐−ド 1 -ザ-IDまたはメールアドレス 1 バスワード 前 □ ログイン状態を保持 5 ログイン
日本語 English 简体中文 繁體中文
利用規約 プライバシーポリシー ヘルプ

【6】ご使用の機器を選択してください。

ど管理サイトで、アクセス制御の設定がオンになっている場合のみ表示されます。



【7】ダイアログを確認し、[OK]をクリックします。

:	CHIRPOGRAWHRUCKERUN CHIRPOGRAWHRUCKERUN CHIRPOGRAWHRUCKERUN
	画面の指示に従って端末でログインを行ってください。 Windowsでログインする場合はこの後にダイアログで「開く」を選択してください。 OK

【8】 [BizAuthReq.exe を開く]をクリックします。

⇒ログインが完了し、アプリケーションのトップ画面に遷移します。



☑ 使用しているブラウザやアプリによっては、ログインするときに以下のような画面やダイアログが、表示される ことがあります。

🥭 https:// – 🗆 X	Internet Explorer X
Business ID しばらくそのままお待ちください。 ダイアログが表示された場合は、「開く」を選択してください。	この Web サイトがこのコンピューターのプログラムを開くことを許可しますか? 発信元: プログラム: アドレス:
• ver.	ビこの種類のアドレスを開く前に常に確認する(W)

1.5.2.4 初回ログインの場合

Google Workspace の初回ログイン時には、本人確認が実施されます。 以下の手順に従って、本人確認を実施してください。

- 【1】ご利用の電話番号の「国名」を選択してください。
- 【2】「電話番号」を入力してください。
- 【3】確認コードの「受け取り方法」を選択してください。
 ③テキストメッセージを選択する場合は、SMS(ショートメッセージ サービス)を利用できる端末をご用意ください。
- 【4】 [コードを取得] をタップします。

- 【5】取得した確認コード(数字)を入力します。
- 【6】 [確認]をタップします。

【7】利用規約およびプライバシーポリシーを確認し、[同意する]を タップします。

⇒ログインが完了し、アプリケーションのトップ画面に遷移します。



翌コードが届かない場合は、サポート設定の詳細をご確認くださ

Google



Google 新しいアカウントへようこそ

100	
は下の (同意する) をクリックすることにより、	アカウントの仕組み
に関する説明を理解し、Cicogia 利用規約とGoog	# プライバシー ポリシーに対意したものと見なされ
創業からのSuneコアサービスへのアウセス構成	目与されている場合、これらのサービスの使用には第
線のGSune 詞的が資用されます。 管理者が有効	にするその他の Google サービス(「通知サービ
スコンには、Groupe OFUMARIE Goople のプラ	ーパンラーダリーク液剤されます。また、由田サー
ビスの中には、サービスSun Art が認定されてい	るものもあります。管理者からアクセス種が作らされ
ているサービスを使用する場合は、お字説出する	サービス別の条件に回覧してください。
George サービスの利用に覆して、ドメイン管理者	NL アカウントの
算(Goorge サービスでCのアカウントに破存した	デーラなど)にアクセスできます。詳細こついて
は、こちらをご思いただくか、戦闘のフライバシ	タリラムを参照してください(内容する高力)。
メールを含む Goorge ワービスを個人的に使用す	も用台は、アカウントを防に保持することもできま
す。戦闘の Goorge ワービスを個人的に使用す	Googe サービスで使用するアカウントを推定し、
す。戦闘の Goorge ワービスを個人的に使用す	ユーザー名とプロフィール最後を通信することで、
責任的のアカウントを使用していることをご要問い	ただけます。
Cocope サービスに対応しています。ただし、この	1アカウントを使用してアクセスできるサービスは
Kinicas optim-more sale の管理者によって設定さ	れます。新しいアカウントのおすすめの使用方法につ
いては、Georgie のへんプロンターをご覧ください	¹ 。

2 付録

以下の項目について説明しています。

項目	ページ
参考リンク集	<u>71</u>
注意事項	<u>71</u>

2.1 参考リンク集

2.1.1 Office 365

◆Office 365 ログインページ

<u>https://portal.office.com/</u>

◆Microsoft Azure ログインページ

https://portal.azure.com/

◆Microsoft Azure Module ヘルプページ

https://docs.microsoft.com/ja-jp/office365/enterprise/powershell/connect-to-office-365powershell#step-1-install-required-software

◆Office 365 Microsoft Azure Active Directory Module for Windows PowerShell 管理コマンドレット 実行時に発生するエラー対処ページ

https://support.microsoft.com/ja-jp/help/2669552/-the-term-cmdlet-name-is-not-recognizederror-when-you-try-to-run-azure-active-directory-for-windows-powershell-cmdlets

2.1.2 Google Workspace

◆Google 管理コンソールログインページ

https://admin.google.com/

◆Google APIs ログインページ

https://console.developers.google.com/

2.2 注意事項

●アクセス制御の注意

Office 365 に SaaS ID 連携でログインしていた場合、ブラウザーやアプリケーションにそのログイン情報が記憶 されます。アクセス制御でログインを禁止されている状態でも、記憶された情報を元にログインできるようにな ります。端末を解除する場合などは、リモートワイプもあわせて行うようにしてください。